

# としゃさいがい 土砂災害から身を守るために



## 雨に注意しましょう

としゃさいがい 土砂災害の多くは雨から起こります。大雨や長雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上になったら注意しましょう。



## 逃げ方をおぼえましょう

どせきりゅう 土石流はスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向とは、直角に逃げましょう。



## 避難場所を決めておきましょう

家族全員で、避難場所・避難する道順を決めておきましょう。災害がおきた時、家族が一緒にいるとは限りません。そんな時も、避難場所をみんなで決めておけば安心です。



## どせきりゅう 土石流のまえぶれに注意

「山鳴り」といって、山全体がうなっているような音がするとき。



雨が降り続けているのに、川の水が減っているとき。

川の流れがにごったり、流木がまじっているとき。



国土交通省 多治見砂防国道事務所  
〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6  
TEL0572-25-8020 FAX0572-25-7994  
ホームページ <https://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>

妻木出張所

〒509-5301 岐阜県土岐市妻木町万場1135-2 TEL0572-57-6213

このパンフレットは再生紙を使用しています。

# わかる!

つまぎ 妻木出張所編

# 砂防教室

さ

ぼう

きょう

しつ



## もくじ

- としゃさいがい 土砂災害とは……………1
- としゃさいがい さぼう 土砂災害を防ぐ砂防の仕事…3
- じっさい しせつ 実際の施設を見てみよう…5

庄内川砂防(土岐川)



# 土砂災害を防ぐ砂防の仕事

砂防の仕事は大きく分けて2つあります。

- 1 土石流などから、住民や財産を守るために施設を作る仕事。
- 2 災害がおきる前に、避難するためのいろいろな情報を伝える仕事。

## 1 施設を作る仕事

### 砂防堰堤 [さぼうえんてい]

土石流をしっかりと受けとめ、その勢いを弱めて下流に流します。そして、土石を貯めて山の斜面がくずれないようにし、下流にある私たちの命や財産を守ります。

ほんたにだいじゅうさぼうえんてい  
本谷第10砂防堰堤 (中津川市)



平成25年8月

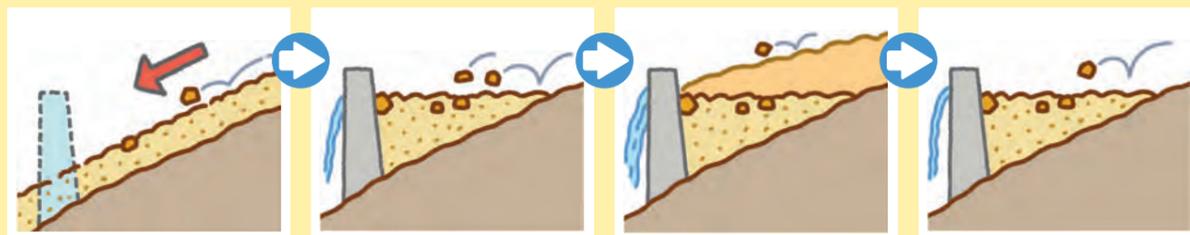


平成25年9月

土石流をしっかりと受け止めたところ

土石流が発生する  
前の砂防堰堤

### 土石流を止める



- 1 砂防堰堤がないと、たくさんの土石がいきにご下流まで流れてしまいます。
- 2 上流から一気に流れてきた土石をしっかりと受けとめます。
- 3 川底がゆるくなって、ふたたび土石が流れてきてもさらに貯めることができます。
- 4 よぶんに貯まった土石をふだんの川の水で安全に流し、2の状態にします。

### 床固工 [とこがためこう]

大水になると、水の流が速くなって川岸がけずりとられて川が大きく曲がったり、川底が掘れたりします。それを防ぐために護岸<sup>ごがん</sup>や床固工<sup>とこがためこう</sup>を作ります。床固工は川に段差をつけて川底の勾配<sup>こうばい</sup>をゆるくするので、土石流の流れる速さもゆるくなり安全に下流に流します。

- ※1 コンクリートや岩などを使い川岸も水害から守ること。
- ※2 水平に対するかたむき。



ふじしたげわとこがためこうぐん たじみし  
富士下川床固工群 (多治見市)

## 床固工のはたらき



大水のとき川岸がけずりとられます。



安全に水や土石を流します。

## 2 情報を伝える仕事

土砂災害の恐ろしさを一人でも多くの方に知ってもらうため、国、県、市町村で危険箇所へのパトロールや避難訓練の実施をはじめとして多くの対策をしています。





# 実際の施設を 見てみよう!

土岐川(庄内川)の支川の周りには、たくさんの砂防施設があります。その代表的なものを紹介しましょう。

## 鍛冶ヶ入川第5砂防堰堤(土岐市)

[かじがいがわだいでさぼうえんてい]

ふだん、水と土砂は下流に流れていきます。大雨が降り土石流が発生したとき、大きな岩や流木などを含む土砂は堰堤に引っかかり止まります。堰堤に貯まった岩、土砂、流木は次の土石流に備えて取り除きます。

長さ	64.5m
高さ	8.5m



## 市之倉おりべ砂防堰堤(多治見市)

[いちのくらおりべさぼうえんてい]

地域の人たちとの話し合いでオリベイズム(江戸時代にはやった個性とかゆらぎとか遊び心のあるもの)を取り入れた砂防堰堤です。陶磁器の展示スペースもあります。

長さ	69m
高さ	13.5m



## 深山谷第1砂防堰堤(多治見市)

[みやまだにだいいちさぼうえんてい]

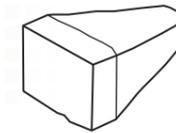
砂防施設の重要性をPRし、防災意識の向上を図ることを目的に「モザイクタイル銘板」を設置しました。この銘板は、地場産業である陶器(モザイクタイル)を活用し、漫画「進撃の巨人」(協力:諫山創/講談社)を描いたものとなっております。めずらしい砂防堰堤です。

長さ	69m
高さ	14.5m

## 浦山第2砂防堰堤(土岐市)

[うらやまだいにさぼうえんてい]

角すいの形をした石を上下して積み、その裏側には砂や小石を詰めてあります。コンクリートを使わない「空石積」という石の積み方となっていて「登録有形文化財」に登録されています。



角すい形に切り割られた石



長さ	28m
高さ	5m



## 雲五川床固工群(土岐市)

[うんごがわとこがためこうぐん]

雲五川は地すべり防止のため埋め立てられ、川の水はトンネルを流れています。埋め立てられた表面は「せせらぎ公園」として整備され、せせらぎとして川の水の一部を流しています。

## あ 荒れ果てた山

昔から窯業が盛んであったため、陶土の採掘や燃料としてたくさんの木を切りました。そのため、はげ山が広がり土砂災害の発生が多くなりました。



昭和10年代頃の多治見市・土岐市の山の状況

## さんぶくこう 山腹工で緑が回復

緑を取り戻すために「山腹工」という工法で木を植え、緑の山にする活動をしました。緑が増えたことで災害に強く、生き物が住みやすい山にすることができました。



昔は人の力で木を植えました。



今のすがた

## MEMO

Blank lines for writing notes.